



本  
西  
遊  
全  
傳

二

47  
~遠21  
2500  
40-16

池清

繪本西遊記二編卷之六

三清觀大聖留名

車遲國猴王顯法

結綻孫行者ハ衆僧の綻放ゆく別を告て逕小城門ノ口小東。道  
士曰你う令叔那裡小有しや否や。行者が曰在那五百人皆我伯父  
なり。你五百人全とゞぐ放免せ。道士大不憫て曰。ありふ。你些風病  
と々多くあり心哉鎮々乱綻をりゆる。那和尚们ハ國王の命にて  
君一人を放さむ。師又不迹了。不得く。疾病小付。補允狀とひ立綻  
小放を。放さぬ。怎磨都と放を。放さぬ。行者が曰。你志うと  
放を。道士曰。斷然放さ。行者大りふ怒ア耳朶の内より鉄  
棍を取出し。一晃。あつて。道士の頭上より下せ。只一棍。小二人の頭

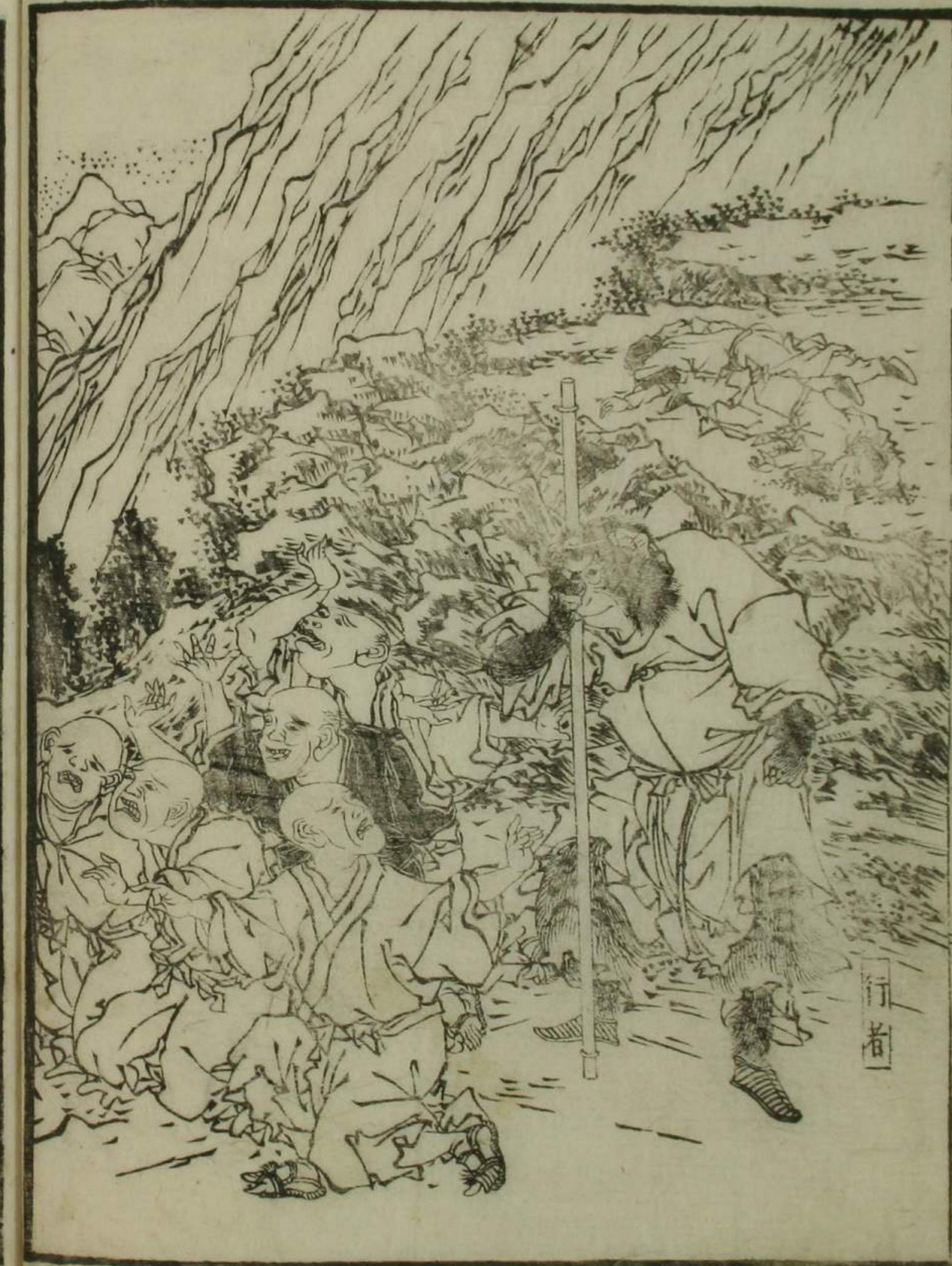
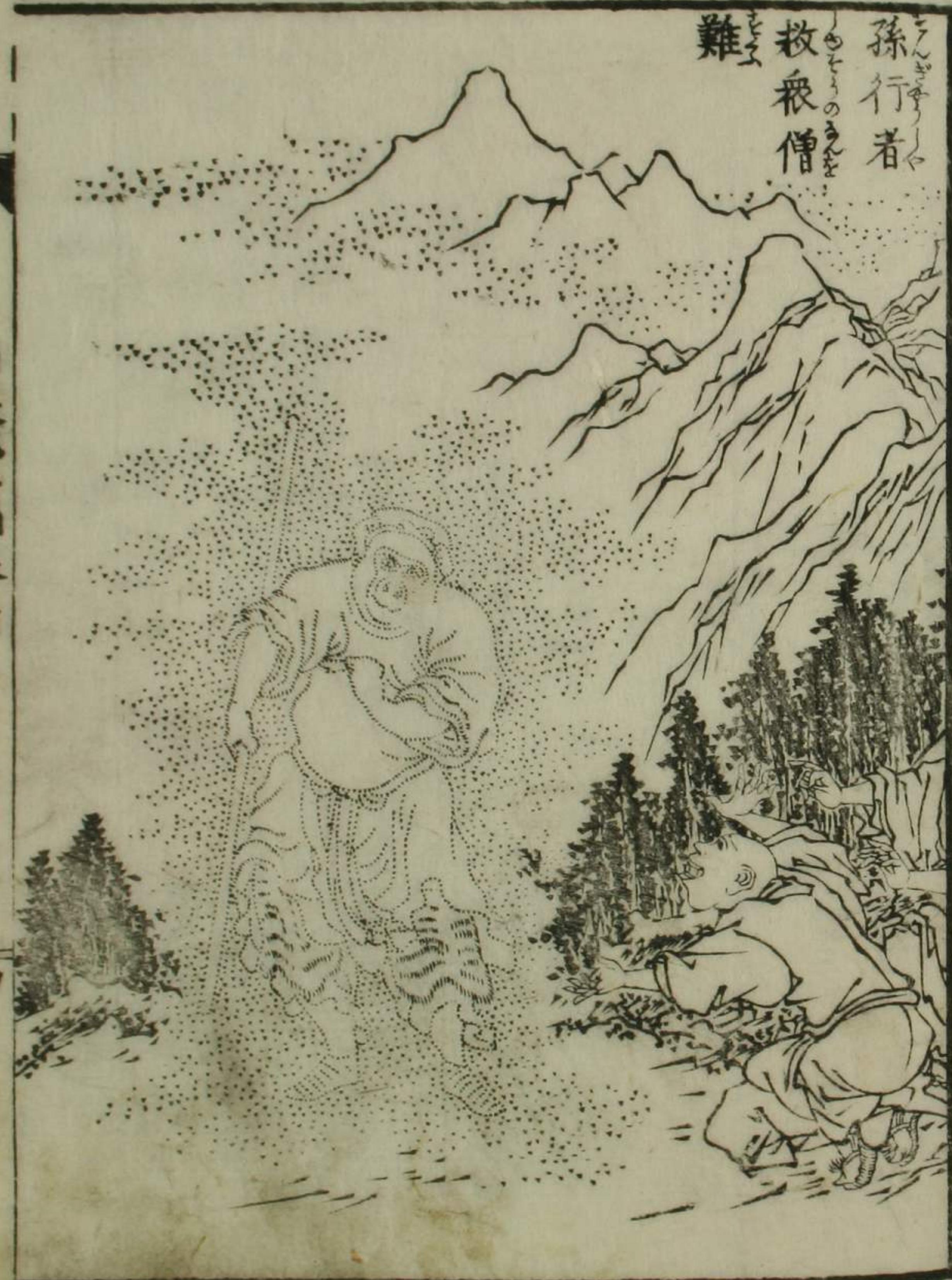
門へ邊214  
2500  
40-16

伏碎ハラスル小龕コトヒナカ丸マツたり灘シマ上の僧徒是を隨スル々と車アリを去フく進フ  
あり道ミチへかけ上フり惱アキシムもく不ハ好シく皇親ウラニンをす殺スル。他ヲ師又必スす我  
们ヲ戦捉ハサム連坐セシム小縛殺セシムせん。是ハ怎シ了タク々タク只シ進フ行フ事ハ成ス公ハ。若  
余ヲ助シふハ不如シと慌惑アラカル。行者ハ曰フ。你们休嚷ハシマフ勿シ。我ハ是  
雲水全真ムンスイジン。莫ハ唐僧カクソンの大徒弟セイテイ齊天大聖孫行者セイテイ。特來  
つク你们ヲ救シ。衆僧信ザシテ曰フ。不是シテ我們ヲ那老爺ヲ。我們ヲ那老爺ヲ  
恐ス。行者ハ詰メ曰フ。我曾ハ。你们ヲ不ハ會ス如何シて恐ス。得ス。僧徒ヲ曰  
我們ヲ夢ム。小一個ノ神將ヲ。到カ。他自ハ曰フ。我ハ大白金星ナリ。你們ヲ那大聖  
乃ハ摹ハシメ樣ヲ告ヘ。那孫行者ハ磕額ハシメ金睛圓頭毛臉ハシメ貌ハシメ雷公  
のハ。金箍棒ハシメ使フ。專シ人ヲ害ス。救シ。告畢ハシメ。夢醒ハシメ。行者ハ大呼ハシメ。驚ハシメ。我ハ實ハシメ的摸樣ヲ見シ。本相ヲ

現ハシメ。衆僧ヲ倒ハシメ。身手合ハシメ。拜ハシメ。曰フ。大聖。我們ヲ憐シ。恨シ。  
雪ヲ災ヲ消ハシメ。玉ヲ出ハシメ。行者點首。你們ヲ大勢ハシメ。散  
て我ハ手足ハシメの辺ハシメ。居ハシメ。勿シ。我ハ明日ハシメ。國王ハシメ。小刀ハシメ。而ハシメ。那道士ハシメ。滅亡  
。衆僧ヲ日ハシメ。我ハシメ。遠ハシメ。逃ハシメ。出ハシメ。人ハシメ。小捉ハシメ。反ハシメ。禍ハシメ。惹  
拔ハシメ。人ハシメ。各ハシメ。一根ハシメ。予ハシメ。與ハシメ。教ハシメ。曰フ。你ハシメ。此毛ハシメ。無名ハシメ。指ハシメ。甲ハシメ。裡ハシメ  
藏ハシメ。拳ハシメ。伏ハシメ。擒ハシメ。只官ハシメ。小路ハシメ。走ハシメ。人ハシメ。有ハシメ。捉ハシメ。人ハシメ。因ハシメ。即ハシメ  
拳ハシメ。放ハシメ。一聲ハシメ。大聖ハシメ。呼ハシメ。然ハシメ。到ハシメ。你們ヲ成ハシメ。護ハシメ。衆僧ヲ試ハシメ  
那ハシメ。毛ハシメ。甲ハシメ。隱ハシメ。手ハシメ。啟ハシメ。夜天ハシメ。大聖ハシメ。一聲ハシメ。呼ハシメ。只シ。看ハシメ。一人ハシメ。行者ハシメ  
面前ハシメ。火把ハシメ。出手ハシメ。小鉄棍ハシメ。執ハシメ。站ハシメ。半軍萬馬ハシメ。迎付ハシメ。人ハシメ  
又ハシメ。亦ハシメ。拳ハシメ。伏ハシメ。擒ハシメ。忽ハシメ。行者ハシメ。像ハシメ。手中ハシメ。小杖ハシメ。又ハシメ。衆僧ハシメ。此奇物

俄爾歸來。拜謝。各一禮。逃去。行者道。呼。  
曰。你们遠道而來。我那道士滅殺。城外。撲滅。  
其因。我毫毛還。衆僧奉。四方。散去。  
却說唐僧。行者。取。飯。來。吃。到。八戒。沙僧。俱。城  
邊。小。到。行者。散。和尚。數。個。裡。小。三。  
藏。半。收。心。此。如何。危。那和尚。曰。活佛。放  
心。明日。早朝。大聖。處。置。我們。是。城裡。動。建。知  
測。寺。僧。人。我。寺。先王。大祖。御。造。立。故。小。曾。折。毀。  
老師。又。找。禱。寺。內。小。安。藏。大。馬。下。  
城。裡。小。不。到。三。門。不。至。正。殿。上。三。藏。佛。前。小。禮。拜。寸。

此。同。小。衆。僧。去。每。次。安。排。十。多。師。徒。十。多。吃。平。方。丈。  
小。入。安。寐。一。夕。斯。時。二。更。小。及。比。行。者。而。眼。空。覺。不。求。  
吹。步。是。急。小。衣。服。穿。了。跳。雲。中。小。上。是。成。小。  
是。三。清。觀。小。那。三。個。道。士。法。衣。被。了。禳。星。一。兩。四。小。七。八。百。的。  
徒。弟。寄。集。鼓。號。司。一。鐘。鼓。司。一。香。鼓。待。一。表白。也。有。小。行。者。  
看。了。小。雲。端。落。悟。淨。成。呼。汝。沙。僧。醒。來。一。日。哥。還。曾。  
睡。也。行。者。起。一。个。受。用。成。是。這。城。裡。一。座。三。  
清。觀。有。觀。裡。修。膳。殿。上。供。養。饅。頭。也。大。充。  
足。行。也。又。五。六。十。斤。燒。餅。也。有。觀。物。無。數。果。品。新。鮮。有。我。  
你。和。少。受。用。成。是。戒。幢。要。裡。小。是。成。受。醒。來。一。日。哥。  
何。也。我。從。帶。擎。也。有。行。者。問。答。你。喧。一。り。ア。ナ。ナ。ナ。



師父の睡が敵め妨あん。只我ふ著そきみれとく。兩個悦び衣  
服戎套上情き門外出雲小駕（ひでゆき）逕小三清觀（さんせうくわん）小燈（ことう）  
點（てん）一連の星（ほし）一ヶれ。八戒既（いそ）小へしてぞ成行者扯住（ひきとどけ）忙  
る。休よ我方便（ほうべん）あり他ホグ退散（たいさん）さう爲待（まち）下人（げじん）念誦忘鬼  
ア翼地（えんち）の方小向（むか）一口の氣を吸吹下せ。忽ち一陣の狂風（きょうふう）とて  
三清殿上小吹り。數万の燈燭（とうしょく）を一發ふ吹消（ふきちらす）。衆（しゆう）道士  
大ソハ心ねらう死胆戰（しじんせん）。虎力大仙（こじきだいせん）曰徒弟且（よし）散（さん）せよ。の  
陣周回（くわい）吉小一。明早余（ののこ）經（きょう）成念（ねん）。數成神（じゅせいしん）。是ふより  
ノ般道士各散（さん）。固マ（ごま）行者仕遂（しそい）と八戒沙僧（さいそう）引（ひく）殿上  
ふ入（いり）。八戒彭子早（はや）燒餅（やきもち）拿（な）張口吃（ぱくし）。行者自上廻（まわ）座（ざ）  
ト。ふも是元始天尊（げんしてんそん）靈宝道君（れいぼうどうくん）太上老君（たいじゆうじゆん）の木像（もじやう）。我們三人

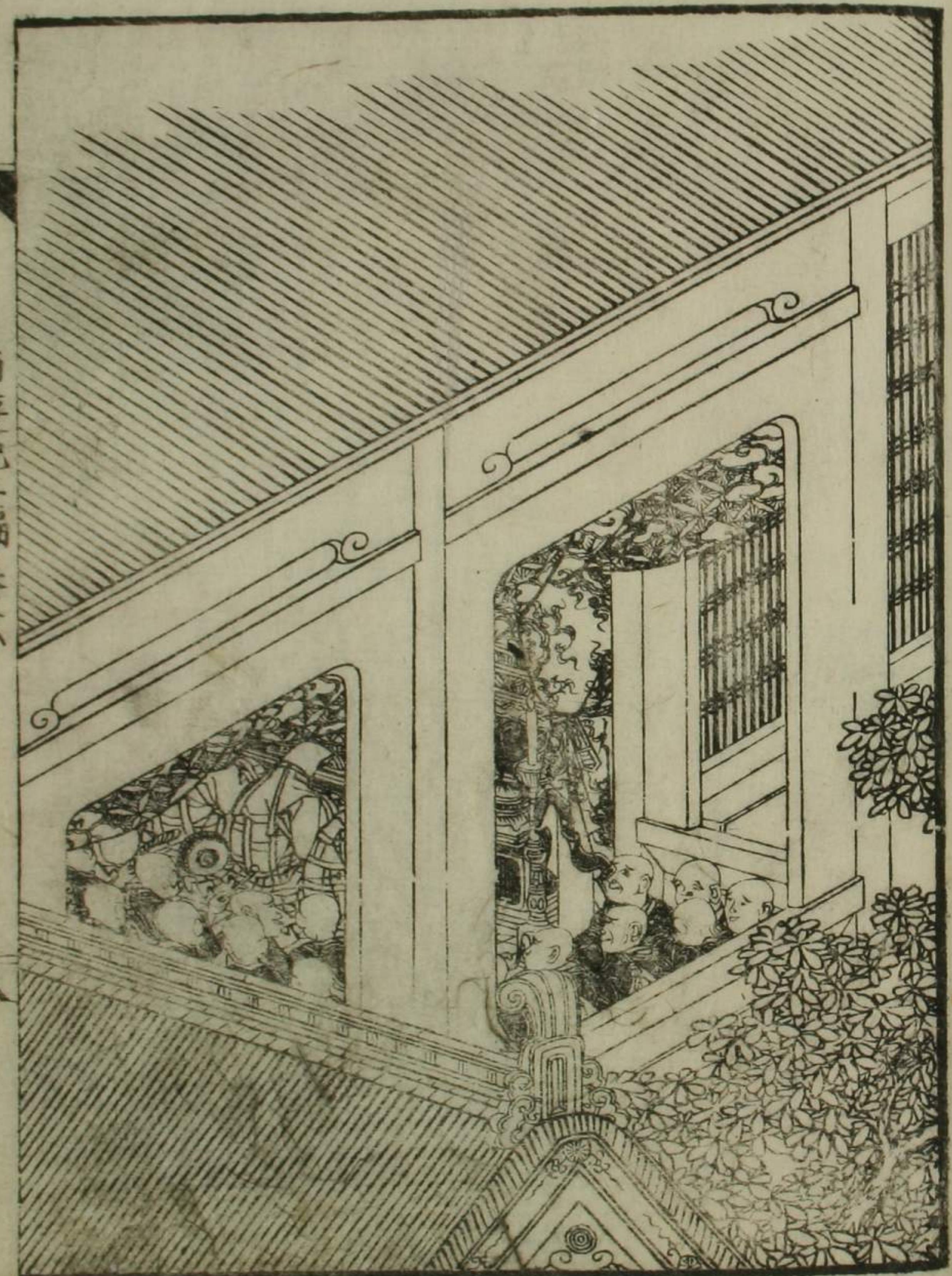
都（とも）這（この）小變（こうへん）。安穩（やすらぎ）と吃（く）。八戒又（また）忽ち高臺（たかだい）に爬  
上（あが）。老君の像（ぞう）を把（つか）。拱下（うきさ）。已太上老君（いたじゆうじゆん）小變（こうへん）。行者も變  
ト。元始天尊（げんしてんそん）沙僧（さいそう）、靈宝道君（れいぼうどうくん）とからう。各原像（もとぞう）と  
推下（おとせ）。行者が曰。這聖像（せいぞう）爲益（めい）。小置（おき）。道士（しゆ）倘來（うけら）。是爲（めい）巧謀  
あくま（あくま）。八戒往（あが）。門口の大池（おおいけ）裡（うち）去込（いそぐ）。獣子心得（じゆじゆくせつ）跳下（とお）。  
三個の像（ぞう）を把く。肩よ膊上（ひづけ）。池水（いけすい）抱込（いそぐ）。殿上（だいじゆう）。回（まわ）。依旧老  
君小變（こうへん）。三個坐（くわくわく）。供物（くわくもの）。情受用（じゆうよう）。行者ハリモ（くわく）。幾丁も  
吃（く）。吃（く）。那二個も同の雲（くも）捲（まわ）。悉く吃（く）。茲（この）小東廊下（こひがりろうかう）  
一個の小道士潛（かづ）居（ゐ）。鈴（鈴）殿上（だいじゆう）小丟（なげ）。茲（この）小東廊下（こひがりろうかう）  
上（あが）。探（さが）手（て）鈴（鈴）を摸取（もくしゆう）。頭（かぶ）を傾く。汝（なき）三聖の像（せいぞう）。呼吸引（くひきゆう）の意  
ある。小道士仰天（あがてん）。害怕（おそれ）。急（いそ）小走（しゆう）。出（で）。一个の荔（りり）核（かく）踏（ふみ）

走りて撲的と跌び一聲噹的と響く鈴を粉碎とへ戒思ひ  
く呵きとよど。小道士益蔬得く一步一跌撞到く方丈の外  
へ逃出く叫び曰師公まづりと三個の老道士即ち門が用  
く何事やと問。小道士戰々兢々曰小弟殿上小鈴哉忘ゆ小依  
尋すまくとともに忽ち人有く呵きとよど。更小何者かある  
哉あらとつゞ此旨達一ゆ。顏色如菜りんじむ。老道士急小令  
を侍く。衆道士皆呼起一掌燈哉拿そ正殿小進く入行者以下  
三個は是成乃就板着臉。動身もせと坐一居。因小虎力  
大仙燈を點一前後成照一乃と曰。三人一個も有りか。無く何  
者。此供獻然把都吃了。虎力大仙曰。小弟歎氣。小是我徒  
唐僧小経。故小天子聖駕哉降臨。這供養を受用一云。

ひしをし羊力大仙曰。既小如此。ナシ。仙駕哉。飯玉あす  
我們拜。一些う金丹水哉求。朝廷小進。是我們の大功か  
らし。虎力大仙。曰。此說的是。徒弟们急れ動樂哉。奏せ  
よ。令。面白く離。三個の道士を法衣哉披。塵哉揚  
げ。舞踏拜伏。願。天尊些う金丹聖水哉。朝廷  
小進。献。心不乱。小祈哉。八戒行者。耳熟。曰。我們  
供物を受用。ハ美。タレ。這般ある。祈哉。定く。否應の  
事。ナシ。何。行者暗小喝。曰。何。我。我。憑。声。震。  
か。我。憑。声。震。曰。仙輩。且。拜祝。も。休。よ。我。蟠桃會。直。小。き。曾。金。丹。聖。水。哉。日。小。再。び。垂。賜。那。大小の。道。士。木。像。綻。出。

大聖だいせい 大不悅だいふえつ。活天尊かくてんそん 臨降りんこう。予放よほう。勿む。好すき。小長生こながじゆ。法兒ほうじる。求め。人ひと。立たつ。鹿力大仙ろくりきだいせん 拜まつ。曰い。是ぜ。非ひ。水みず。聖水せいすい。苗なえ。弟子だいてい。小こ。延のぶ。長生ちよせい。休やす。行者ぎょうしゃ。曰い。無む。力ぢから。我わ。些さ。聖水せいすい。与よ。廣汝ひろな。苗裔なえい。滅めつ。あり。金きん。帳あや。道士しとし。頭かしら。叩う。曰い。子孫こくそん。力ぢから。矛子ぼうし。ホスホス。恭敬心きょうけいしん。念ねん。此こ。聖水せいすい。廣。道德どうてき。宣國王せんこくおう。奏ささ。普ふ。信門しんもん。欲ほ。金きん。行者ぎょうしゃ。此こ。上じょう。些さ。聖水せいすい。與よ。器物きもの。衆道士しゆしとし。大不悅だいふえつ。誓首せいしゅ。謝あや。那な。三さん。個こ。老道士ろうしとし。或も。大缸おほがん。抬く。或も。破盆はいん。取と。或も。花瓶はいん。牒漏だいろう。舍移かわい。三人さんじん。前まへ。置おき。行者ぎょうしゃ。曰い。汝な。出で。格子がくし。掩お。ガガ。一い。身み。洞のぞ。天機てんき。カカ。者もの。有あ。眼まなこ。前まへ。小天界しょうてんがい。天場てんば

大聖だいせい 怕おの。一い。氣き。衆道士しゆしとし。敵むき。命めい。順じゆ。一い。箭の。小出こで。退の。其その。同どう。行は。者もの。立たつ。虎皮こめ。裙きぬ。撇ぱ。著き。不ふ。花瓶はいん。牒漏だいろう。舍移かわい。八戒はつげ。也や。揃そろ。鼻はな。繩じょう。砂盆さわん。中なか。漏ろう。撒ま。依よ。坐すく。尋たず。行者ぎょうしゃ。呼よ。曰い。仙葦せんまい。聖水せいすい。領りよう。至いた。其その。因いん。衆道士しゆしとし。格子がくし。推しの。頭かしら。叩う。恩おん。成な。謝あや。缸瓶かわい。砍か。金盆きんぼん。集あつ。徒たう。尋たず。金盆きんぼん。鐘子かねこ。取と。也や。虎力大仙ろくりきだいせん。先まへ。鐘汲かねく。一口ひとくち。叩う。下した。只ただ。唇くちびる。抹嘴まつぢる。努つね。居ゐ。也や。魔力大仙まのりきだいせん。曰い。師兄しゆきゆう。好吃いり。不ふ。也や。虎力ひるぢき。曰い。甚ひ。好すき。些さ。醉ゑ。醇じん。厚あつ。味み。也や。掌て。今いま。力ぢから。口くち。呻うめ。猪いのし。漏ろう。躁氣さうき。有あ。行者ぎょうしゃ。是これ。爲ため。今いま。天尊てんそん。天場てんば。大唐だいとう。僧そう。也や。大だい。小こ。叫さけ。曰い。汝な。亦あ。是これ。爲ため。天尊てんそん。天場てんば。大唐だいとう。僧そう。也や



西游記二回卷之二



西遊記二回卷之二

七

官告を奉り。西天小歩もし。路上當國小まく。一水。ゆり。守供難  
が吃ひ喜び。今汝ホウ吃ひ。其麼の聖水と。是れ我ホグ。渴の  
屁ナリと呼ク。三個のトコリ。呵々とワト。道士ホ大をふ怒。一角。  
文鈕掃幕。大動。瓦塊石頭を投付。細挺んと。廻ク。行者八戒沙  
僧も早く殿外小圓出雲小跳。驚く往小智測寺。圓。敢く師父  
あも告た。眠ふ付タ。被次の日早朝小三藏起出。侍者と呼。  
我圓文拂換き。汝ホも来。命ドキ。二人ともに師父の  
跡小隨ひ行。三藏。五鳳樓。至。黃門官。對一礼をなす。  
姓名を報。傳奏を憑。黄門官則ち是を奏。國王奏と  
て。曰。這和尚先を西安。來。門を開く。唐僧  
ホガ宣ひ。師徒控ノ前。小排列圓文を國王ふ呈と。其折う  
ホガ宣ひ。師徒控ノ前。小排列圓文を國王ふ呈と。其折う

黃門官。奏。曰。三位の國師來。と。國王奏。急  
小龍座を下り。身伏躬。上殿。迎。三個の道士。國王を及ても  
敢く礼を行。甚ざ慢。国王道士小對。曰。國師朕。あざ  
詰。一。小來。何。虎力大仙。曰。一大事。告。小人。爲。來。き。丈。先。置。那。搭。前。小立。四個の和尚。那  
里。來。者。國王。是。唐土大唐の差。西天小往。經を  
取。此。到。圓文を換。沙願。道士。大いふ笑  
。曰。我他。を。奏。せ。ん。來。不。國。他們。此。小。在。こそ。幸。ふ  
き。國王。驚。曰。他。徒。何。小。因。尊。顔。を。冒。罪。を。犯。や。道士  
曰。陛下。も。あ。知。か。他。昨日。き。城外。小。於。兩個の徒。手  
を。サ。殺。五百個の囚。僧。を。走。せ。刺。三清觀。小。思。へ。三聖の

像を毀壊。御賜の供物を偷て吃了。我ホハ只天尊す。下降す。と  
いは金丹聖水を求て陛下ふす。ともひれ。那廝三面の中へ小使  
を遣す。我ホを嘲笑ひ。陛下宜しく是ホの罪を糺す。國王改く  
大りふ怒。武士小命。四叢を殊せし。行者叫く曰。陛下且く  
辯舞を怠て。貧僧の啓奏を皮肉。昨日我ホ他が両個の使者を殺  
せし。覺ナ。亦因僧を放せし。よそぞ。其上三清觀  
とせんへ心込供物を偷て。厭を垂て。此國ふきより。あざ街道  
といへ。我們ハ東土の產す。初。此國ふきより。此國ふきより。察  
あく。况や其三清觀か。於か。陛下是ホ成以て。ゆく。察  
へ。國王是成。更か決断定。又黄門官來つて。奏す  
ら。許多卿老。轉奏を願ひ。と。啓。と。國王は。即同

小命宣く。其奏向を。衆民頭を叩く。曰。春雨不降。夏小り。而  
乾荒甚く。間。願。國師を。祈。雨を。祈。普。下民の  
金炭を。濟。國王奏を。宣。三藏。僧。小命。雨を。要。むる。更  
少減。も。當年。乾荒の。國僧。小命。雨を。要。むる。更  
一點の雨。成。降。天幸。國師を。降。雨を。祈。小  
忽ち。其。現。民の。金炭を。援。你今。遠。来。我國師の  
顛。を。冒。即。因。小。殊。戮。姑。其。罪。恕。汝。汝。國  
師。と。行。力。競。雨。要。麼。や。雨。祈。王。祈。汝。其。罪  
を。饒。國文。換。西天。赴。也。も。と。雨。成。ける。能。だ  
ん。汝。典刑。せん。行。者。答。曰。是。何。易。なり。早く。國師  
と。勝。劣。を。う。金。あ。國。其。國。僧。宮。小。命。壇。場。を。す。掃。さ

せ観音五鳳樓小登く。且之成觀者も斯く虎力大仙や。上禮へ昇らんと。を。行者引住りて曰。先生今日雨を祈るが故也。明白小講を得よ。方知雨下が。且之卿が功績あり。虎力嘲笑笑曰。汝擇上み一度响き。風起。三声小雷。四声大雨降。え声ゆく。雨晴し。何の疑りある。行者笑て曰。妙々呵果。早々精了。虎力其因。拽用。小歩。壇。小上。下。人息絶。虎力ハ擇上小立定。小道士小肩と持させ。周。小立せ。第一口乃宝劍を執。咒縛を念へ。一道の符をやれ。一言。令牌まれた。忽ち手空のうち。悠々と。風色。翻。起き。行者是發。又。一根の毫髮。拔。變。我假身。一つ唐僧の傍。小立せ。本身。玄。空中。小至。高。司風。と呼。圓寂。慌。布袋。口

伏捨往巽二郎ハ口縛成。行者が前かまう。礼成なし。行者  
白。我唐僧が保護。西天あり。経をもとす。然る今糾  
と妖道と勝負賭す。雨を祈る。汝怎麼老孫を助む。却  
く妖道を助む。汝今風を把収。些の風兒ゆくもさむ。我鐵棒  
を汝を二十棒サし。司風大の恐き我取て風を吹ふ。と  
りへて走り去。道士六斂。又令牌を執。扇火燒く。撲と下一步  
む。推雲童子忽然と云成佈。作霧即君霧を起一来る。行  
者急ふ喝止前。一分付多一。推雲童子云狀收り。道士  
既小二度。手をより多く大いに焦燥。劍か伏髮を散。咒を念  
ふ。房を焼す。令牌を一下もれず。只看鄧天君。雷公。雲母。或領  
小到。行者又喝止。前の。今。叔向曰。那道士も何う法を

三道士  
祖唐僧  
師弟

國王

鹿力

虎力

洋力



やへて天君肯ども。鄧天君答へ曰。那道士五雷法をひく  
わく扇を焼玉帝が驚く。因へて我們旨爲奉ひ。雷電を助け  
兩点下さる。行者が曰。既か如此。且く住まく老猿う行う  
我伺ひ。待よ鄧君。唯々。雷電が鳴内らす。茲小於く道士  
を案ふ。拥違一愈加著忙。扇を焼兒を念へ。令牌をナフと  
ふ。半空う中四海の龍王ひく。集まら。行者を刀を急ふ上  
れを施す。行者前へ。銳了。雨を止せ。扱ひ。那妖道  
が四声八ノ令牌已小畢。是より老猿が輪到たり。衆列俱小我が助上  
我棍をすく爲号。一指小雲を佈。二指小雷電  
成發し。四指小雨を下し。五指小天晴日出。若是小違ふ者ハ我  
鐵棍を吃し。今付ねば。衆神命成領へ。去。行者今ハ

心易へと。頭下。毫を把へ。上身小收り。高く呼び。曰。先生々  
四声の令牌とも小已小呼終。魚更小風雲雷雨なれば何變。と嘲  
笑ふ。虎力大仙小面白。失ひ。と壇を下。五鳳樓小進。昇る  
國王曰。國師已小令牌四声。不及ひ。不風雨。何故。道士  
士曰。今日只竜神他行へ。家小在宿。故小雨降。行者階  
下小在。是爲皮。大つ小叫び。曰。陛下道士が忘言。小迷。下  
諸神も。在宿。とりども。只是國師の法術靈。小。因る。雨  
風降ら。貧僧が師又一度祈ら。風雲雷雨。須臾小到。いふ  
國王曰。如此。早く檀小上。而祈。雨が降せ。我茲小在。親  
く看。三藏行者。袖成ひ。耳語。我敢。雨を祈。法と知  
ど。汝も。少く。かれ。行者曰。心を勞。只管。經。念。之。

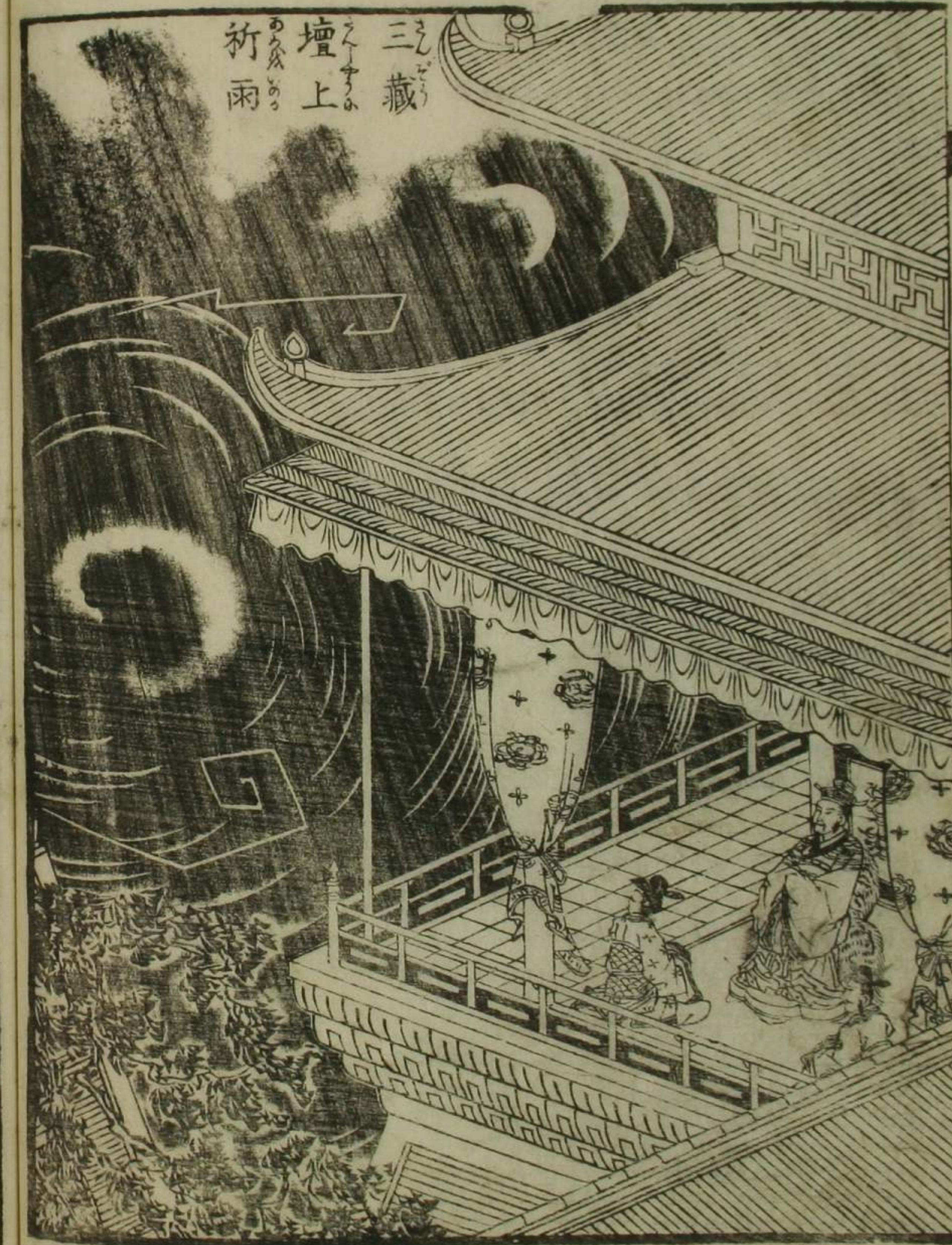
我宜々手後ありと茲於三藏擅小上<sub>ア</sub>經を念じ。行者師又  
が經を念盡をゆく。一棍を上空を臨<sub>ア</sub>一指を揮ひ俄然<sub>ト</sub>風吹  
り。砕<sub>ト</sub>石を起す。行者<sub>ト</sub>棍をとう<sub>ト</sub>一指もれハ只着昏  
霧朦朧<sub>ト</sub>濃雲<sub>ト</sub>あびた起る。又一指<sub>ト</sub>れハ雷响電闪<sub>ト</sub>大地も裂山  
岳も崩ろ<sub>ト</sub>が如<sub>ト</sub>。又一指もれを勿心ち大兩盆を傾<sub>ガ</sub>がて<sub>ト</sub>辰<sub>ト</sub>刻より  
降<sub>ヘ</sub>。午の刻<sub>ト</sub>至<sub>ス</sub>。國王<sub>ト</sub>肯然傳<sub>ト</sub>雨を穀<sub>ト</sub>と有<sub>ス</sub>れば行者就  
ち棍<sub>ト</sub>把<sub>ト</sub>空ふ向ひ一指もきだ。而委因<sub>ト</sub>向<sub>ト</sub>雷止風息雲散<sub>ト</sub>雨  
收<sub>ト</sub>。依日淪果<sub>ト</sub>。曦<sub>ト</sub>射出<sub>ト</sub>。國王大り<sub>ト</sub>其道德を感<sub>ト</sub>  
駕<sub>ト</sub>促<sub>ト</sub>。宮中小同<sub>ト</sub>。己小園文<sub>ト</sub>換<sub>ト</sub>。唐僧<sub>ト</sub>放<sub>ト</sub>。去<sub>ト</sub>。人<sub>ト</sub>す  
あ<sub>ト</sub>。那三個の道士國王戒制<sub>ト</sub>。陛下且<sub>ト</sub>園文<sub>ト</sub>換<sub>ト</sub>。すなまき  
一言<sub>ト</sub>有<sub>ト</sub>と妨<sub>ト</sub>

外道妄強欺正法  
心猿顯聖滅諸邪

此時國王道士小向ひ其故。或向道士曰。陛下よくおひいへ。我們  
這國ふるく小まことく政を保まつて二十余年よろしくなり。然もく今の這和尚法力  
を弄つまく。我們わが聲名を敗まする。陛下むちゅう只一場か内うち雨あめなり。死刑けいひを恕ゆる  
玉たまりんすりと。狂忽きょうふののこゝりかたり。我の望のぞららくと再び賄あぐを下くだし。勝劣かつり  
成な試こうしすを欲ねがむ願ねがく。他かれふも命いのち一ひと國こく王わ。那なふ遂まことに國こく  
文ふみを收ときめ。曰いふ。師しの望のぞみ何なり。脇わきざさくれ此度このども何なを賄あぐ  
小せきこせきともともや。荒力大仙あらぢきだいせんが曰いふ。我われ他かれと坐禪ざぜんを賄あぐせん。國こく王わが曰いふ。五ご師しの  
見み大小差さがり。那な和尚とうそうも元もと來き禪ぜん教きょうり出身しゆじんなり。汝な怎麼な他かれ小こ勝かつ  
すす然ぜんる。し。荒力あらぢき曰いふ。我われり坐禪ざぜんと是これ別趣べつしゆたり。異い名めいを呼よく雲くも拂はふ。顯あらわ聖せいと做つくむ。百張ひゃくり桌子卓子を要むく五十張いそり禪ぜん臺だいととり。一張いっり

重ひ乃ボリ雲頭小駕し。臺上より坐り約をまく幾千  
内動をど坐禪をまく。國王トロコヒ三藏小向曰。我師汝  
と云様顯聖の坐禪を賄ふせんとす。汝小かのと奈何。二藏行者  
小耳語く曰。我坐禪も會うれども。云頭小駕と能ひと。是がいき  
せし。行者白師又カハ命小應カハ老孫師又カハ送りて云上り駕  
んと何り難かずあらん。三藏是小依く對曰。貧道云様顯聖  
の坐禪をまく。國王まく官人余命カハ殿前カハ左右小両坐の  
禪臺又高く段カハ虎力大仙其内殿カハを下り。身を一度縋カハ一足の  
祥雲を踏カハ連小西辺カハ臺カハ小上りと坐と。行者是を刀カハ一根の  
毫カハを拔カハ變カハ我假像カハ。八戒汝僧二個カハを五色の祥雲リキシマガ  
化作カハ三藏を駕カハ空中カハ撮起連小東辺カハ臺上カハ小至下カハ坐せしむ

斯く両個坐カハ雲内カハ勝負カハか。此間行者心中小今の  
糾カハを生カハ一身を変カハ焦蟻虫カハとなり趣カハ西辺カハ禪臺カハ小上り  
又变カハ一條七寸糾カハの蜈蚣カハとなり。連小道士の鼻カハへれど。虎力大  
の小驚カハ。忽ち法力カハ失カハ臺上カハより真連カハお落カハ幾卒絶死カハ  
P。小道士们驚カハ。慌忙カハ救起カハ薬湯カハを服カハらカハ抱カハ。國王カハ大  
祥雲カハ小駕カハ師又カハを下カハ。指前カハ小至カハ曰。我長老已小勝カハ。高カハ所  
より快カハ閻文カハを換カハ出カハと叫カハ。鹿力大仙又奏カハ曰。陛下  
先他小閻文カハを与カハ。我師兄頃日風疾カハ是カハ小依カハ。高カハ所  
小到カハ。因カハ天風カハ小冒カハ。且カハ唐僧カハ。我カハ唐僧  
と今カハ賄カハをカハ。國王悅カハ其賄カハの趣意カハを向。鹿力カハ曰。我賄カハ号



「隔板猜物」と云。是別吏をもどす。筐の裡ふ物をへ猜へ當たり。唐僧曰く「猜へるも罪を免へ。」國丈を与へたり。猜へるもんを断罪へ。我師ハ恨を雪べ。國王陛下は旨が傳へ。一個の硃紅漆の櫃を取よせ。内宮小命へ。後宮小入娘々が宝貝を放下て殿前へ抬出させ。唐僧道士小令代下。櫃の裡をもど。何物をもや猜へ中より余を。行者ハ妻へ。焦燎虫となり。唐僧の頭上からも暗小曰。師又心易くちひひ。我船去く。又きく。遂ふ船へ。櫃の脚へ下ふり。一條の縫兒より鎖へ。是を又ふ。山河社稷。乾坤地理の裙なり。行者散ふ。抖乱指を咬み。一口の血を噴うけ。妻と板爛流去と。口の鐘。又縫裡より鎖出。私きく。三藏の耳。乃上ふ。多リ。曰。櫃の裡をもど。破爛流去と鐘なりと教ひ。三藏すて

前小進へ出。貪僧へ。猜へり。唐力喝へ。曰。我先猜へ。中人那の櫃の裡をもハ。山河社稷の襍乾坤地理の裙なり。三藏曰。我見は是と大小違へ。只破爛流去と。口の鐘を入らね。國王大不腹を立。這野僧朕を悔へ。宝物へと。甚麼流去。鐘の如たものに入へ。三藏曰。陛下お櫃が用をなし。若是宝貝をも貪道罪。小伏せし。國王此上へ。櫃を用ひむ。小果並唐僧へ。猜せり。如くかしが。國王大り小怒。維々から物を入せん。朕を辱めし。待く我自一個の宝をへ。猜せん。又櫃を後宮へ抬へ。國王御花園小下ア。一个の桃を摘み。櫃の内小藏へ。官人小命へ。殿前へ抬出へ。きく。行者や。船去く。縫兒より鎖へ。又小六あ。桃子なり。即ち原身を現へ。櫃の内小坐へ。桃を吃了。接

ちくらが遺のこり。ちか又焦蠍虫じごくちゆうをちくら起出おきだて三藏さんざうが耳朶みみの上うへに又  
至ひつ櫃ひつ内うち裡うちをちくらハ桃ももの枝えだをちくらりだ告ごちくらふより。三藏さんざうまで猜さなぐせんぐ  
がちくらむ手てカカ曰い。我先猜さなぐせんぐ櫃ひつ内うちをちくらハ一つひとつ乃の仙桃せんとうなり。三藏さんざう  
曰い是これを挑うなづかあくび桃ももの枝えだを核こゑだへんれんす。國王こくわう心中なか小唐僧しょうとうそうが猜さなぐ一不ふる  
を悦えび宮人くわんじん小命こめい一不ふ櫃ひつを用もちひくふ。果然かげん桃ももの枝えだを大おほい小驚こゑい  
た。我親桃おやぢももを藏くわ一入置おきか。何友核ともともこゑだをちくら小成こせい一入いりやと更かわり不可ふぞく  
解わか惆うなづ竺しゆ處ところをあくす。此岡虎力大仙保雞ほけいを加くわ衣服いふくを改かせ出だ來き  
里殿さとどの小昇こひるぎ曰い。這唐僧搬運抵物ばんうんていぶつの術じゆありと考かえい。我共術ごうじゆを  
破はりほんと見る。櫃ひつを後殿ごうどん小抬こしあげせ。心中なかかすりひき。他ほかの物ものと  
抵たたか得え術じゆ有ある人の身みを抵たたか得えるる能のうと思おも惟い一個いつぽんの小道童こうどうどうと  
櫃ひつ内うちへ入いりて抬出あけださせ三藏さんざうを呼よ。猜さなぐせんぐす。行者ぎょうしゃ又例たとへ

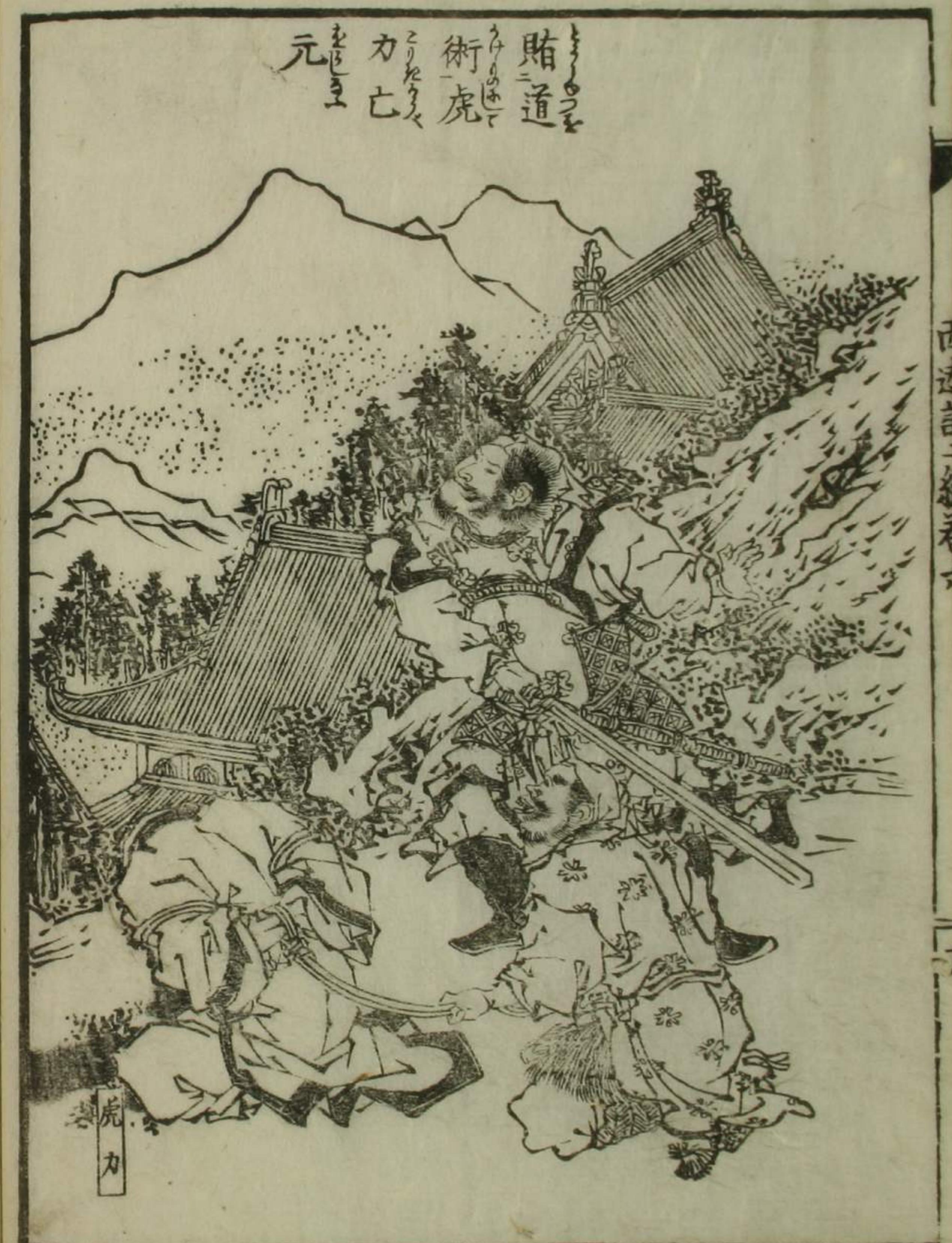
私去鑽くわん入いりて見み小一個ひとくじゅうの小道童こうどうどうなり。身みを遙とほ一斐いつ  
虎力仙こくりせんとちくら櫃ひつ内うちへ進すすて曰い。我遁法とんぱくを以もつて茲こゝ小來くまる。別べつはあ  
らど。ちくら小那唐僧おなとうそう必ひと是これ小童こどもなりと猜さなぐ。當あたし。ちくら。你なヶ頭かしら  
を剃そり和尚がんそうか。我和尚がんそうかと云い。他ほか唐僧とうそう小勝こぶ。童子わらわ白しら只ただ  
又また意い小馮こひら。免めんも角つの。他ほか唐僧とうそう小勝こぶと承うけり。行  
者ぎょうしゃ悦えひ鉄棒てつぼうを麥むぎ。刺刀さしだ。童子わらわの髪かみを剝落はらはら。曰い。頭かしら  
を麥むぎ。己おの小和尚がんそうと。わざ。あざ。衣裳いしやう。道服どうふく。快かく脱ぬけ出だせ。我是わたくし  
も。行者ぎょうしゃ一口いつくちの仙氣せんきを吹ふけ。麥むぎ。木き臭にお。他ほか小授こじゆ。曰い。你なは。這この  
内うち小居こゐ。道童どうどうと。叫さけ。因いんハ千言せんごんも。出だ。勿む生なま石いし。

和尚と呼ぶ。圓蓋が開く。木臭をもつた口の裡小阿弥陀佛と  
念。出ましれと命。又集蟻虫と變へて鑽を出でて三藏  
の耳孔ふとあり。樞の内から和尚なりと教ひ。はす虎力三藏に向  
ひ。汝樞の中なる物哉。猜よとり。三藏曰。是何より易。樞の内  
から。一个の和尚をうと。只一声呪ともうか。那童兒頂をりつゝ樞  
の蓋を開れ。真鼓を敲き。佛名を念じ出ましる。三人の道士。宋小  
相違。惱惑ひ口成箱より處をもす。國王が曰。這和尚の法力。神  
鬼の捕有小似。今も他小開文を換。子へ。虎力大仙す。奏す  
ら。陛下。其とが待々。我們別小一奇藝あり。他と再び此  
賭をふまし。國王が曰。甚麼の奇藝。虎力が曰。我們兄弟三人。  
と。小一術あり。頭を砍り。再旧ひ。還接。腰を割心を剝ぐ。再

ひ。癪全く癒。油を鍋小滾。よく洗澡を。國王大りふ驚。城す  
都。先を尋るの路をり。恐ろしく危うが。と難。虎力がりふ  
我。法力有。些も身を過げ。陸下心戒易。快く用  
意を。や。國王是心か。ニ藏門を呼。曰。國師汝  
ら。放を。を。背。今一度。賄をせし。戒。望む。則ち。砍頭剖腹下  
滾油洗澡。も。賄。せし。と。你。せし。否。行者本相戒現  
そ。曰。貧道此三才を恐。望小任せ。賄を。と。應じ。是。小  
より。國王旨戒傳。行者を捉。教場小到。頭を砍。む。剣子  
手。金を得。行者を細。劍を。拔。声を。け。丁と首。斬。か  
三四歩も。踢去。小行者。頭の腔子中。より。更。小血。出。ぞ。只  
肚。裡。小。叫。色。あり。須。更。と。頭。安。き。と。同。ま。腔子。中。小。接。合。些

乃狼をも残さず曰ひ。監斬大りふやうた急に朝ふへと斯と  
奏聞。行者も奉伏捻て綱繩を挣断走て殿前へ至り我首  
をもくふ砍て又接すがる。早く國師の頭をも砍て弑よく叫ふ虎  
力心得たりとく場所へ至れど剣手を虎力の首へ砍落す。是  
も腔子裡より血出む。おも頭還りまことに。行者早く身  
を變へて一羽の大鳥となり。虎力が頭を噛て御水河の深淵へ  
落し沈む。虎力が腋胸の裡より三声連々叫とも頭うち走らず  
遂小腔子中より鮮血をもれ出で身軀倒き死む。衆人驚て是  
を见れば一隻の黄毛の虎なり。監斬まくりて朝ふへ斯と奏へれ  
を國王色を失ひ驚た聲ひ大こをもす。虎力が曰。師兄死せりと  
りとも黄虎とぞうべたやうか。是凶と那和尚掩様法をして

斯ひとく刀をもたらし。我他と破腹の賠を乞ふ。國王嘆へ會子  
を呼行者を拿へ去り。ひ行者曰。拿すゆる。勿も我自ら往角  
腹を裂き臍腑を洗刷せんと搖く擺歩く。近小教場へ至つ。身  
成大椿の樹小龜の衣帶が解開た肚腹を露出。那剣子短力  
を把く行者う心下小突立脇下へと断割を。行者双手を以て  
肚を爬みて丸腸腑を拿出し一條々々理勾多因て又依旧  
腹小牧め一口の仙氣を吹か。依舊一點の痕をとらず。監斬  
を憫く此へ成圓を奏む。國王益やうだ驚く。所へ行者立り未  
だ處力大仙肚を割く刃せよと請。處力曰我又汝小不輸と云  
擺々と歩乃へて教場へ至り。會子小命一腹を割開させ腸代把  
出む。行者早く變へて一羽の餓雀鳥となり翼を翅きく處宗



魔力五職をして、ぐくぐく抓ぐ。其所どもまろず捨置き。是ふ後て魔  
力大仙腰破き屍倒す。先立ち死んで是、一頭の白鹿なり。監斬  
慌得て又斯と報を國王大りふ怕き恠へと心決せどと手力大  
仙奏へて曰。师兄二個とも死へて歎ひ形を露出。是皆那和尚法  
術を弄く人間を惑ひすと覺へり。我沸油の賄を拿し。师兄の仇  
を報せんと望されば。國王又令戒下。一個の大鍋小満々香油と貯  
へ梨火を燃へて油を瀼焼らし。行者を呼べ汝快く鍋の中  
へ。洗澡せよと望む。行者一議ゆく及ばず。布の直裰を脱虎皮  
の裙を解跳び鍋の内ふへ翻波闘流をくみたけふく水を沐う  
。戒尺と汝僧の袖を引。這老猴這般の奇技あくんとぞ思  
がまえと嘲り兩個只管ふ夸獎。行者是を见て心疑ひ那獣子

我在嘲り笑うて心は。驚きを吃ひませひと巧も。遂小油鍋の底  
小沈を變へて東へ接とたり再度浮き出だ。監斬官是が口を  
大りふ悦ひ那和尚瀼油の中小烹死へと養む。國王も大りふ悦ひ急  
に骸骨を榜上へ取まれと令へれど心ねいとく一把の鐵笊を  
をりて油鍋の裡を捞とりて。笊曾の因荒れを行者忍り  
漏落ともしない。依て又奏へて曰。那和尚骨もく幼嫩溶化した  
と。國王曰。益々再び今乃和尚を烹殺せよと命じ。両邊の官  
人八戒、悧、悧を召して先八戒を撤く細らんと一々れど。八戒  
大りふ慌てて曰。此弼馬溫の儀猴。かたぬ賄をすく。油鍋の  
焦とあり。尚我然も殺さんとぞ。何吏どと。乱跳び懸つて叫。行者  
鍋の底ゆく。獸子よ。亂罵をと呼べり本相を現へて跳び出る。

人丈ツふ驚キテた急ハリ小朝アマニかハ和尚シヤウ程スル天アマニせす。油鍋ヨウカクトリ跳サカシ出ヒと奏タマシす。  
間マツシもかく。行者エイガ衣服イフツを穿キテて走ハシり来アリ。手力ハンド小向ハシ入ル。汝モ油鍋ヨウカクトリ  
洗浴ラブせよ。望ムシハ。羊力殿ヤムカを下アシ。衣服イフツを脱ハシ。油鍋ヨウカクハ内ナカニへ跳サカシ入ル。洗  
澡ラブを浴ハシ。行者エイガ小劣ハセらす。行者エイガ油鍋ヨウカクの邊カタ。小行手コハンド伸スル。  
又アリ小那ナガ。濃油ヨウオ都スル。冰冷リョウジンとハシれ。心中シキヌひかり是シテ必ハシ冷リ龜カニ此ヒ  
小在アリ。纏持マツチ。急ハリ毫毛ハラヒを拔ハシ。假身カタとハシ。本身ホンを  
空中アツシキ小跳ハシ上ル。咒語ジユを念メテ。北海ハカイの龜王カニノミコトを喚寄ハシ。問ク曰ク。甚麼シモニ妖  
道モードを助ケけ。鍋カニ底スル。小冷龜リョウカニを住スル。濃油ヨウオを冷油リョウジンとハシ。龜王カニノミコト  
旨シテ。小童ハチ敢ハシ。他タを助ケ。大聖ダシ知ルハシ。這薛子ザイシ。畜若ククサ。修行ムツギ。  
那ナガ冷龜リョウカニを自リ煉ハシ的ハシ作スル技ハシをハシとハシ。外ハシ。小童ハチ今ハシ他タ。冷龜リョウカニ成スル把ハシ  
取ハシ去ル。甚シうハシ。他タ術ハシ。骨碎皮焦ハシ。行者エイガ旨シテ早ハシ收ハシ了スル。龜王カニノミコト

第一陣ハシの狂風ハシと化ハシ。油鍋ヨウカクトリ到ハシ。冷龜リョウカニを捉ハシ。北海ハカイ小  
回ハシ。れど。羊力ヤムカ濃油ヨウオの内ハシ。有ハシて爬出ハシ。能ハシ。七顛ハシ八倒ハシ。須  
臾ハシの間ハシ。骨脫肉爛ハシ。死ハシ。あハシ。監斬官ハシ急ハシ。大朝ハシ。小走ハシ。行ハシ。羊  
力ハシ。國師ハシ油鍋ヨウカクの内ハシ。死ハシ。五ハシと奏タマシ。國王ハシ。声ハシ放ハシつ  
そ大ハシ。不ハシ。知ハシ。其後ハシの事迹ハシ。下アシ同ハシ。又ハシ。分解ハシ。龜カニ。池ハシ。清ハシ

